

# 編機の「き・ほ・ん」

## ハンズブレンド

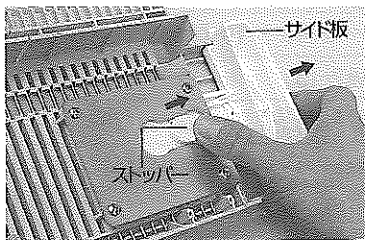
今月号は新発売の「ハンズブレンド」(6.5mmピッチ)をご紹介します。操作のポイントをしっかり身につけ、すてきな作品づくりにチャレンジしてください。

### ここがポイント

- ① 編み始める前のセットはしっかり。
- ② 糸の号数にダイヤルを合わせてスタート。
- ③ 針ブレーキのスポンジが薄くなったら交換。

## 編機のセットのしかた

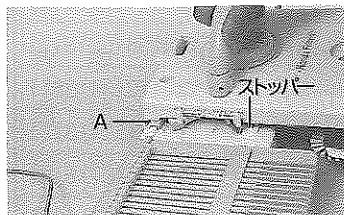
☆軽いのでどこでも簡単にセットできます。



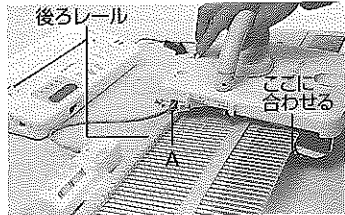
### ① サイド板を引出す

針を端まで出して編むとき、本体を裏返し左右のストッパーを押して、サイド板を引出します。

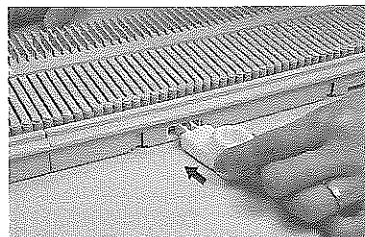
### ② キャリジを取り付ける



① 後ろレールにA部分を合わせて、キャリジをすべらせて入れます。  
※ストッパーに当たるときは、手前を少し持ち上げます。

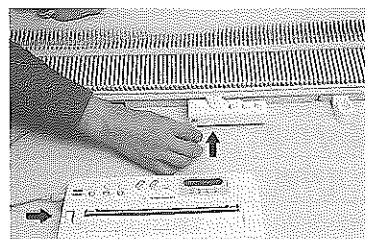


② 「はずしレバー」を手前に押さえながら、キャリジの手前をミゾ板に合わせてから、Aを後ろレールにはめ込みます。



### ③ テンションを取り付ける

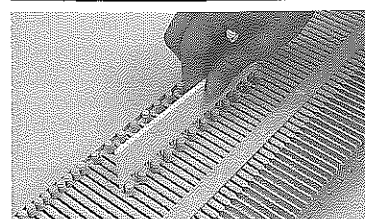
テンション棒受を本機の後ろに差し込み、テンションをセットします。



### ④ 段数計と[KR11]をセットする

電子ニットレーダー (KR11) の接続コードで段数計とレーダーをつなぎます。

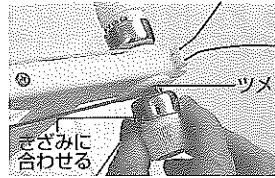
## 編み始めと編み方



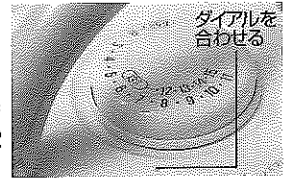
### ① 編み始め方 (目のつくり方)

編む針を1本おきにB位置に1/1の柄板でそろえます。

### ② テンションをセットし編目ダイヤルを合わせる



① テンションダイヤルの後ろのツメの内側に糸を通します。ダイヤルは編目ダイヤルとほぼ同じです。



② 編目ダイヤルは棒針の号数に合わせて。R~11の目盛は針を全部出します。12~15の目盛は1本おきに出して編みます。

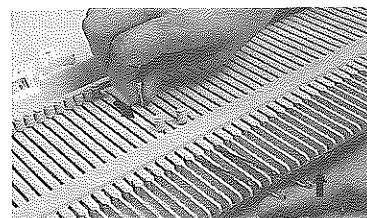
### ③ 編み出し板を下げる

針と針の間の糸に編み出し板の歯をかけます。

※目数に応じてジョイントでつなぎます。



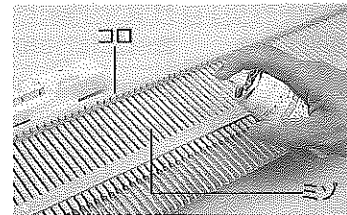
## こんなことに困ったときは…



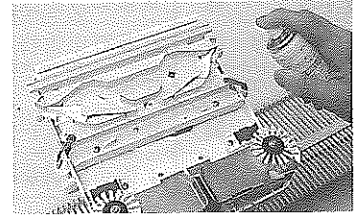
### ① メリヤス針がこわれたとき

① メリヤス針をはずします。(ペラで閉じて、コロを持ち上げながら針を後ろに引抜きます。)  
② 抜いた針の両どりの針をD位置に出し持ち上げ、スベア針のペラを開いて、抜いた針のところに入れます。

### ② キャリジが重いとき



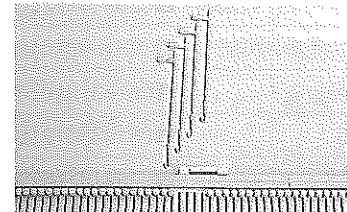
① 全体的に重い場合は、ニッティングスーパを編機全体に吹きつけます。※特にミゾ・針のコロ



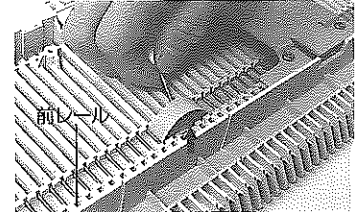
② キャリジの裏側の摺動部分に軽く吹きつけます。

### ③ キャリジが針にあたる時

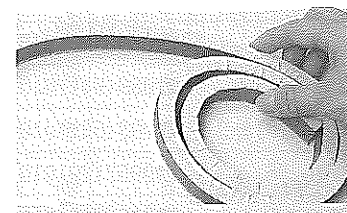
針をおさえている針ブレーキのスポンジが薄くなったため交換します。



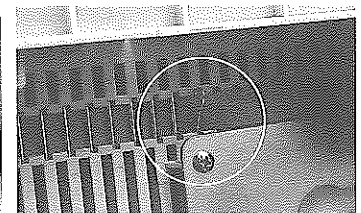
① 本体の10~20目付近の3~4本の針をはずします。



② 本体を裏返し、前レール付近の針ブレーキを針のはずしたところから引抜きます。  
※残りの針を全部はずし汚れを拭き取り、油をふくませた布で拭き色別に分けておきます。



③ 本体の裏から針ブレーキの布面を上にして、ミゾにいれます。



④ 本体を表にし中心部分から針を1本ずつ入れます。  
※針を入れるときは、針ブレーキをすくい上げるように入れます。

# 編機の「き・ぽん」

## ハンズフレンド②

先月号に続き、新発売の「ハンズフレンド」(6.5mmピッチ)をご紹介します。「ゲージの計り方」から、簡単にできる模様のいろいろをご紹介します。

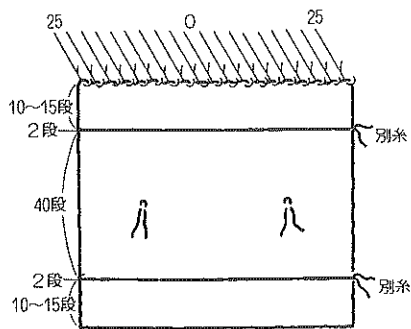
### ここがポイント

- ① 作品づくりの基礎(ゲージについて)
- ② レバーの使い方のできる模様。
- ③ 模様づくりの便利な付属品。

## ゲージの計り方

☆作品を寸法通りに仕上げるためには、ゲージをなるべく正確に計りましょう。

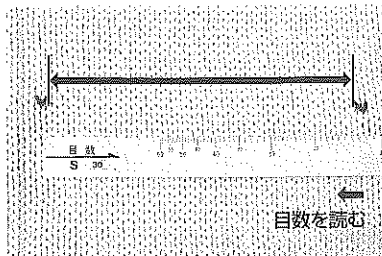
ゲージ…編み目の大きさの基準(10cmあたりの目数、段数を表す)



### ①ゲージをとる編地を編む

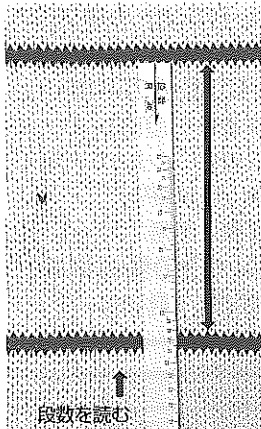
- ① 0を中心(0)に25目ずつ針を出します。
- ② 作品を編む糸と模様で編みます。
- ③ 別糸を入れて編みます。
- ④ 編地を縦・横・斜めに伸ばしたり、軽くたたいて目をならし、スチームアイロンで浮かせて整えます。

### ②ゲージを計る



目数…糸印の内側30目の長さを目数目盛(S)をあてて読みます。

段数…別糸で編んだ内側40段の長さを編地の中央で段数目盛(R)をあてて読みます。

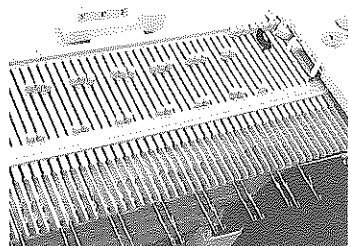


段数を読む

## 模様編みの編み方

☆編み出し板とおもりをかけます。キャリジはゆっくり平均した速さで動きます。

### ①すべり目編み サイドレバーを使います。

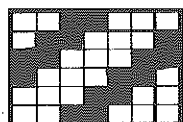


- ① ひら編みの針をD位置に出し、サイドレバーの左右を「スベリメ」にして編みます。

※すべり目になる針…B位置  
ひら編みの針…D位置



模様

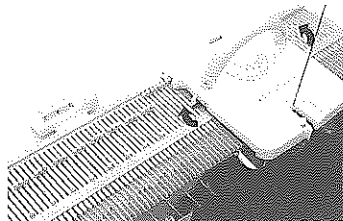


D位置に出す針

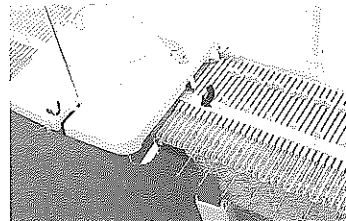
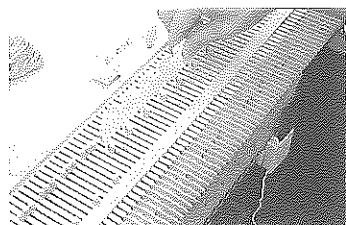
### ②引上げ編み

ラッセルレバーを使います。

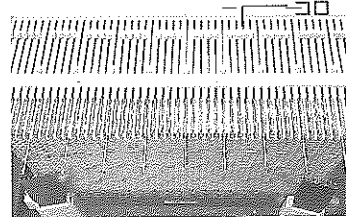
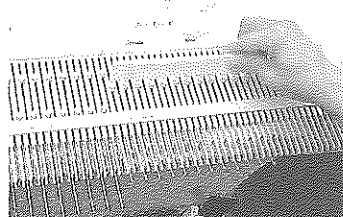
- ① 引上げる針をD位置に出します。(1/3の針出し板を使って出します)



- ② ラッセルの左右を「ヒキアゲ」にして3段編みます。

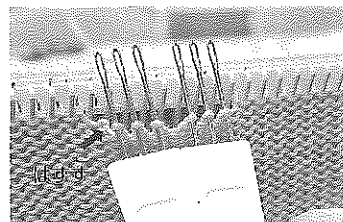


- ③ ラッセルレバーの右を「ヒアラミ」にして1段編みます。



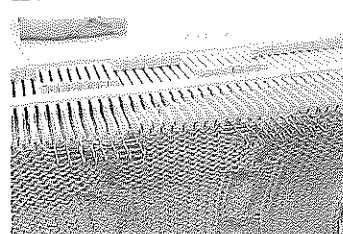
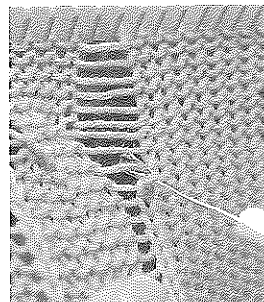
※模様の針出しに1/1の針出し板や針のコロが5目ごとにピンクとパープルになっているので、目安として活用してください。

### ③なわ編み ウツシで編目を交差させて編みます。



#### 【3目3目のなわ編み】

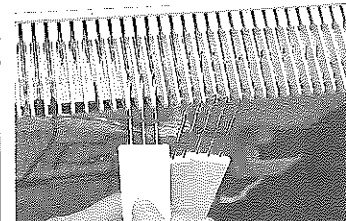
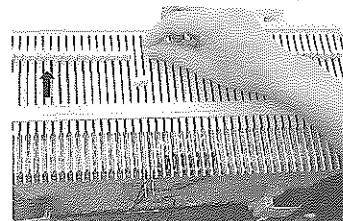
- ① 3目のウツシにそれぞれの目をとります。  
※交差するとき、移しづらい場合は外側の針の目をはずすとよい。



- ② 交差した次の段が編みにくいときは、針をD位置に出してひら編みます。

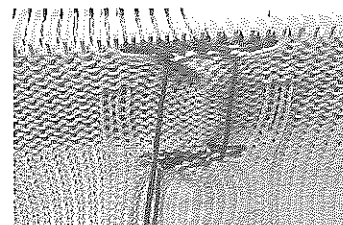
- ③ 2回くらい交差したところで、なわ編みの両外側のはずしてある目をタッピで表目に直します。

#### 【目数の多いなわ編み】



- ① そのままでは交差ができないため、別糸(作品と同じ糸)で交差する目をゆるく編みます。

- ② 別糸で編んだ目をウツシにとり交差します。  
※目がはずれないようにウツシの先を上向きにします。



- ③ 編み終わった後、別糸で編んだ糸を引きます。